

ご存じですか！文化財

11

「保寧寺阿彌陀三尊像」

国指定重要文化財
平成14年6月26日指定



問合せ
騎西教育事務所
(☎内線153)



所在地 日出安1286

今回紹介する文化財は、わたしが住む日出安(騎西地区)の保寧寺に伝わる、木造阿彌陀如来及両脇侍像です。

かつては「子授け阿彌陀」とも呼ばれ、堂内の小さな阿彌陀仏を借り受け、これを拝むと子が授かるとの信仰がありました。造立は鎌倉時代初期の建久7(1196)年。運慶・快慶に代表される慶派仏師の宗慶(運慶の兄弟弟子)の作で、胎内には「平氏女」「藤原弘口」などの施主名が記されています。

この仏像が造られたのは、鎌倉幕府ができて間もない時代です。

騎西は平安時代末から活躍した武蔵武士を輩出した地域で、源頼朝の元にはせ参じた多くの武士がいました。道地・田ヶ谷(騎西地区)に居住した道智・多賀谷氏も平氏出身の武士なので、胎内に記された「平氏女」と何らかの関わりがあるかもしれません。

戦乱の世の中にあつて、せめて死後の世界は極楽浄土へと願う武士の姿がこうした仏像を造らせたのでしょうか。

仏像は凛々しい御姿で、やさしくわたしたちを見守ってくれています。



紹介者 江口 進さん(日出安)